

【東京・春・音楽祭2023】
Ellen Reid SOUNDWALK
featuring Kronos Quartet and 50 for the Future
～クラウドファンディング挑戦中～



東京・春・音楽祭実行委員会（実行委員長：鈴木幸一）では、2023年に開園150年を迎える上野公園を舞台に、新たな取り組み「Ellen Reid SOUNDWALK featuring Kronos Quartet and 50 for the Future（エレン・リード サウンドウォーク featuring クロノス・クアルテット & 50 for the Future）」を実施するため、クラウドファンディングに挑戦することと致しました。

皆さまより温かな応援を頂戴できますと幸いです。

＜クラウドファンディング詳細＞

- 【タイトル】 上野公園で SOUNDWALK を実現したい！
- 【URL】 <https://readyfor.jp/projects/SOUNDWALK>
- 【目標金額】 150万円
- 【募集期間】 2022年12月6日[火]11時～2023年1月31日[火]23時 56日間
- 【資金使途】 SOUNDWALK で実働するアーティストの創作活動費、渡航滞在費、広告宣伝費、またクラウドファンディング手数料等雑費に使わせていただきます。
- 【形式】 All or Nothing 形式 ※All or Nothing 形式は、期間内に集まった支援総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。
- 【リターン】 5,000円～1,000,000円まで計12コース。「WEBサイトにお名前掲載」、「クロノス・クアルテットサイン付CD」、「参加アーティストによる限定曲目解説動画」、「クロノス・クアルテット未公開演奏映像」など



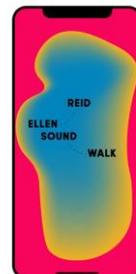
「Ellen Reid SOUNDWALK featuring Kronos Quartet and 50 for the Future」 実施予定概要

Ellen Reid SOUNDWALK は、GPS（現在位置情報）を利用し、自然の中で音楽を楽しむパブリックアート作品として、アメリカ出身、ピューリッツァー賞受賞歴もある若き作曲家、サウンドアーティストのエレン・リードによってコロナ禍に立案・製作され、欧米を中心に数々の著名な公園（ニューヨーク・セントラルパーク、ロンドン・リージェンツ・パーク&プリムローズ・ヒル等）で実施されています。ご利用される皆さまそれぞれが歩いた場所や経路によって、ヘッドフォンやイヤフォンから聴こえてくる音楽が変化する、新しい音楽体験がお楽しみいただけます。

クラウドファンディングが成立した際には、日本初上陸の Ellen Reid SOUNDWALK として、東京・春・音楽祭が開催される上野公園を舞台に、エレン・リードの監修のもと、日本でも人気の高いクロノス・クアルテットが手がける「50 for the Future」の作品を中心に製作、スマートフォン用の無料の専用アプリ内に日本語の上野公園用ページも用意され、多くの方に上野公園で新たな音楽散歩をお楽しみいただけるようになります。

＜実施予定概要＞

- 【期間】 2023年3月～約1年間 ※調整中
- 【会場】 上野恩賜公園
- 【アーティスト】 エレン・リード、クロノス・クアルテット / 他
- 【プログラム】 SOUNDWALK アンサンブルによる作品、
クロノス・クアルテット「50 for the Future」より



アーティスト紹介

●エレン・リード（作曲家・サウンドアーティスト）

同世代で最も革新的なアーティストの一人であり、オペラ、サウンドデザイン、映画音楽、アンサンブル、合唱等、幅広い作品を手がける作曲家、サウンドアーティストである。オペラ《プリズム》は、2019年のピューリッツァー賞・音楽部門を受賞した。

作曲家のミッシェル・マツォーリとともに、ルーナ・コンポジション・ラボを共同設立。これは若い女性やノンバイナリー、ジェンダー規範に抗する作曲家のための指導プログラムである。19年からは、ロサンゼルス室内管弦楽団のクリエイティブ・アドバイザー及びコンポーザー・イン・レジデンスを務めている。

コロムビア大学で学士（美術）、カリフォルニア芸術大学で修士を取得。世界各地の音楽からインスピレーションを受けており、お気に入りの2都市、ロサンゼルスとニューヨークで暮らす。作品はデッカ・ゴールドからリリースされている。

ロサンゼルス・タイムズ紙いわく、「一言でいえば、リード到来」。



●クロノス・クアルテット（弦楽四重奏）

サンフランシスコのクロノス・クアルテット——デイヴィッド・ハリントン（ヴァイオリン）、ジョン・シャーバ（ヴァイオリン）、ハンク・ダット（ヴィオラ）、サニー・ヤン（チェロ）——は、50年近くにわたり、弦楽四重奏で何が体験できるかを考え続けてきた。現代において最も知名度と影響力を持つアンサンブルの一つとして、世界中で数千回に及ぶコンサートを行ない、70以上の録音をリリースし、世界で最も洗練された多くの作曲家や演奏家と様々なジャンルを跨いだコラボレーションをしている。また、非営利団体「クロノス・パーフォーミング・アーツ・アソシエーション」（KPAA）を通じて、弦楽四重奏のために1000以上の作品や編曲を委嘱しており、ポラー音楽賞、エイヴリー・フィッシャー賞、エディソン・クラシック作品賞等、40以上の賞を受賞している。

クロノスの活動になくはないのは、何百人もの世界中の作曲家との、一連の長期にわたる委嘱コラボレーションである。その作曲家には、テリー・ライリー、アレクサンドラ・ヴレバロフ、ターニャ・タガック、フィリップ・グラス、インティ・フィグス＝ヴィスエタ、フォデ・ラッサナ・ディアバテ、ステイーヴ・ライヒ等が挙げられる。これまでで最も野心的な委嘱による労作は、近年KPAAが完成させた『50 for the Future: ザ・クロノス・ラーニング・レパートリー』であり、この取り組みを通じて、世界中の作曲家に委嘱した弦楽四重奏の新作50曲を、オンラインで無料公開している。

録音では、ウー・マン、ザキール・フセイン、アシャ・ボスレ、マーサ・ヴァーダット、ナイン・インチ・ネイルズ等、ライブ演奏では、ポール・マッカートニー、アレン・ギンズバーグ、ロキア・トラオレ、デイヴィッド・ボウイ、リアノン・ギデンズ、カエターノ・ヴェローゾ、ザ・ナショナル等、多くのアーティストと共演している。

毎年数ヵ月間はツアーに出ており、ニューヨークのカーネギー・ホール、メキシコシティのベジャス・アルテス宮殿、ロンドンのバービカン・センター、アムステルダム・ムジークヘボウ、上海コンサート・ホール、東京のサントリーホール、シドニー・オペラハウス等、世界の名高い会場に出演している。

ノンサッチからリリースされている膨大なディスコグラフィには、グラミー賞を受賞した3枚のアルバム——テリー・ライリーの『サン・リングズ』（2019）、ローリー・アンダーソンとの『ランドフォール』（2018）、アルバン・ベルクの『抒情組曲』（2003）——の他にも、評価の高い録音が多数あるが、直近のリリースとしては、ジョナサン・バーガーとハリエット・スコット・チェスマンによるオペラ《ミ・ライ》（2022）がある。クロノスの作品は多くの映画にも頻りにフィーチャーされており、なかでもサム・グリーンとジョー・ビニの脚本・監督によるライブ・ドキュメンタリー『千々に乱れて』は、2018年のサンダンス映画祭で初公開された。

サンフランシスコを拠点として、非営利団体KPAAのスタッフがクロノスの活動をあらゆる面で管理しており、それは委嘱活動から、コンサート・ツアー、地方公演、レコーディング、教育プログラム、サンフランシスコで毎年恒例のクロノス・フェスティバル等にまで及ぶ。



「東京・春・音楽祭 2023」 開催概要

期間：2023年3月18日[土]～4月16日[日]

主催：東京・春・音楽祭実行委員会

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

会場：東京文化会館、東京藝術大学奏楽堂（大学構内）、旧東京音楽学校奏楽堂、国立科学博物館、東京国立博物館、東京都美術館、国立西洋美術館、上野の森美術館 / 他

後援：文化庁（※申請中）、東京都（※申請予定）、台東区

協力：一般社団法人 上野観光連盟、上野の山文化ゾーン連絡協議会、上野文化の杜新構想実行委員会（※申請予定）

助成：公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

URL：<https://www.tokyo-harusai.com>

【本プレスリリースに関する報道関係お問合せ先】 東京・春・音楽祭実行委員会 広報担当

TEL (03)5205-6401 FAX (03)5205-6403 E-mail press@tokyo-harusai.com